比治山公園「平和の丘」基本計画（素案）の概要

平成29年1月
広 島 市

1 はじめに

比治山公園は、明治36年に本市で最初の公園として開設され、桜の名所として親しまれるとともに、明治42年には広島大本営の明治天皇の休憩所（御便殿。原爆により倒壊）が移設されたほか、様々な記念碑等が建立された歴史的な場所です。

また、世界中から多くの人々が訪れる平和記念公園から約2㎞の距離に位置し、高次な都市機能が集積する都心にありながらも緑豊かな自然に触れられる希少な場所となっており、さらには、その標高をいかして、原爆の惨禍から復興したデルタ市街地の街並み等を一望できます。

戦後、昭和27年には都市計画法上の公園に位置付け、昭和55年には本市の政令指定都市移行を記念して「比治山芸術公園基本計画」を策定しました。現代美術館や青空図書館（現在のまんが図書館）といった文化施設や展望台広場などの整備は、この計画に基づいて進めてきました。

しかしながら、現在、この計画に基づく整備は進展していない状況にあり、自然や文化と触れ合うことができる身近な憩いの場、また、平和記念公園などを訪れた観光客が回遊できる観光スポットといった、比治山公園の持つポテンシャルが十分にいかされているとは言い難い状況にあります。比治山公園の歴史的価値や立地特性を踏まえるならば、公園を現状のままにしておくのではなく、そのポテンシャルをいかして「国際平和文化都市として復興した広島の『今』を実感できる新たな拠点」として再整備する必要があります。

このため、被爆70周年の平成27年7月に、「比治山公園『平和の丘』構想」を新たに策定しました。この基本計画は、この構想に基づき、「比治山芸術公園基本計画」に替わるものとして取りまとめたものです。

2 構想に掲げたコンセプトごとの整備内容と各施設の概ねの完成時期

この基本計画は、市民意見募集等※の結果や観光客の動向・ニーズ等を踏まえて、構想に掲げた三つのコンセプトごとに整備内容をまとめています。その実現に当たっては、計画の対象区域が約29haと広大なことから相当な時間を要することが見込まれるため、三つの期間に分けた上で整備を進めていきます。

まず、第Ⅰ期においては、主に行政が主体となって、歴史的・文化的な価値のある既存の施設の魅力に磨きをかける整備に取り組みます。次に、第Ⅱ期においては、民間事業者や市民等の知識や経験、資金を活用しながら、公園の新たな魅力を創出するための整備を進めます。そして、第Ⅲ期においては、放射線影響研究所の移転後の敷地を活用した新たな施設の整備に取り組みます。

このように、基本計画に基づく整備を着実に進め、多くの市民や観光客が訪れ、愛される比治山公園「平和の丘」を実現していきます。

※ 基本計画の策定に向けた市民意見募集等

(1) 構想の実現に向けたアイデア等の募集
（平成27年8月～9月）
比治山公園でどのように過ごしたいか、どうすればより魅力的な公園になるか等、広く市民等からアイデアや意見を募集
（応募者数：67人、アイデア等の総数：201件）

(2) 比治山公園ワークショップの開催
（平成28年4月～6月　計3回）
地元住民や比治山公園が活動の舞台になり得る市民活動団体等の参加を得て、比治山公園での新たな楽しみ方や活動について考えるワークショップを開催
（参加人数：第1回42名、第2回32名、第3回28名）

(3) オープンハウスの開催（平成28年7月 計2回）
地元住民やワークショップ参加者との意見交換を実施
（参加人数：第1回6名、第2回25名）

「(2) 比治山公園ワークショップ」の様子

「(2) 比治山公園ワークショップ」におけるフィールドウォッチングの様子

「(3) オープンハウス」の様子

コンセプトごとの整備内容

コンセプト1「都市に込められた平和への思い」を共有する場

比治山公園は、世界中から多くの人々が訪れる平和記念公園から約2㎞の距離に位置し、園内とその隣接地には、陸軍墓地や戦没者の慰霊碑があります。また、被爆建物の頼山陽文徳殿や多聞院の鐘楼、被爆樹木のソメイヨシノやクスノキなどがあり、被爆の実相に触れられる場所です。

こうした特性をいかし、被爆の実相を伝える平和記念公園とともに、平和への思いを共有できる場所にします。

【整備内容】
- 陸軍墓地
- 頼山陽文徳殿
- 展望施設等
- 「平和へのメッセージ」を記す碑

コンセプト2「都市の美しさ・復興の力強さ」を実感する場

比治山公園は、「デルタ市街地」を流れる6本の川と水辺空間が織り成す「水の都ひろしま」の象徴的な景観を構成する要素として大きな役割を担うとともに、戦災復興のシンボルである平和大通りの東端に位置し、その標高をいかして、デルタの美しい街並みと緑あふれる平和大通りを望める場所です。

こうした特性をいかし、市民はもとより広島を訪れた観光客が、都市の美しさとともに、原子爆弾の惨禍から復興した都市の力強さを実感できる場所にします。

【整備内容】
- 展望施設等

コンセプト3「都市に息づく文化・自然の豊かさ」を体験する場

比治山公園は、本市の都心、「デルタ市街地」にありながら、緑豊かな自然環境に恵まれるとともに、現代美術館やまんが図書館といった文化施設のある場所です。

こうした特性をいかし、現代美術などの文化に親しむ楽しさや感動を味わえ、心地良い丘の中でゆっくりと穏やかな時間を過ごせ、子どもが遊びを通じて自然を体験できるなど、平和であるからこそ享受できる都市に息づく文化や自然の豊かさを体験できる場所にします。

【整備内容】
- まんが図書館・御便殿広場
- 現代美術館
- 遊戯施設
- ランニングコース
- ウェルネス施設
- プレイパーク
- レクリエーションエリア
- 多目的エリア
- 飲食施設（レストラン）

公園の機能をより発揮させるための環境整備

【整備内容】
- 園内動線・交通アクセス
- 樹林管理及び植栽
- 案内サイン
- 照明
- 飲食サービス・にぎわい
- 総合インフォメーションセンター

各施設の概ねの完成時期

第Ⅰ期〔平成29年度・平成30年度〕
既存の施設の魅力に磨きをかける整備

(1) 陸軍墓地 ・・・コンセプト1
(2) 頼山陽文徳殿 ・・・1
(3) まんが図書館・御便殿広場 ・・・3

〔公園の機能をより発揮させるための環境整備〕
- 眺望の確保、樹林管理及び植栽
- 飲食サービス・にぎわい

第Ⅱ期〔平成31年度～平成33年度〕
公園の新たな魅力を創出するための整備

(1) 展望施設等 ・・・コンセプト1・2
(2) 「平和へのメッセージ」を記す碑 ・・1
(3) 現代美術館 ・・・3
(4) 遊戯施設 ・・・3
(5) ランニングコース ・・・3
(6) ウェルネス施設 ・・・3
(7) プレイパーク ・・・3
(8) レクリエーションエリア ・・・3

〔公園の機能をより発揮させるための環境整備〕
- 園内動線・交通アクセス
- 樹林管理及び植栽
- 案内サイン
- 照明
- 飲食サービス・にぎわい
- 総合インフォメーションセンター

第Ⅲ期〔放射線影響研究所移転後〕
放射線影響研究所の敷地を活用した新たな施設の整備

(1) 多目的エリア ・・・コンセプト3
(2) 飲食施設（レストラン） ・・・3
(3) 「平和へのメッセージ」を記す碑 ・・1
(4) 遊戯施設 ・・・3
(5) ランニングコース ・・・3

〔公園の機能をより発揮させるための環境整備〕
- 園内動線・交通アクセス
- 樹林管理及び植栽
- 案内サイン
- 照明

3 施設配置

前項に整理した主な整備施設等の配置は、以下のとおりです。

4 第Ⅰ期 整備（平成29年度・平成30年度）

第Ⅰ期は、主に行政が主体となって、歴史的・文化的な価値のある既存の施設の魅力に磨きをかける整備に取り組みます。

具体的には、まず、陸軍墓地や被爆建物である頼山陽文徳殿の整備を行い、市民や観光客が、被爆の実相に触れ、戦争や平和について考えることができるよう「都市に込められた平和への思い」を共有できる場の整備を行います。

また、まんが図書館のイベント空間や御便殿広場の読書空間の整備を行い、心地良い丘の中でゆっくりと穏やかな時間が過ごせるよう「都市に息づく文化・自然の豊かさ」を体験できる場の整備を行います。

さらに、ムーアの広場や富士見台展望台、陸軍墓地からの眺望を確保し、園路沿いを中心に明るい樹林環境へ転換させるための樹木の間伐等を行い、公園の機能をより発揮させるための環境の整備を行います。

(1) 陸軍墓地

日本人戦没者の遺骨が葬られているとともに、広島で亡くなった外国人の墓もある陸軍墓地を、国籍や人種、宗教などの様々な違いを超えて、人類愛のもとに協力し合う「博愛」のシンボルとし、市民や観光客が世界平和を願い、草花を植えることのできる花と緑の厳かな空間とします。そのため、花壇を整備するとともに、墓地の入り口にある老朽化した建屋に替えて、花と緑の空間イメージに適したエントランスを整備します。

「(1) 陸軍墓地」の整備イメージ

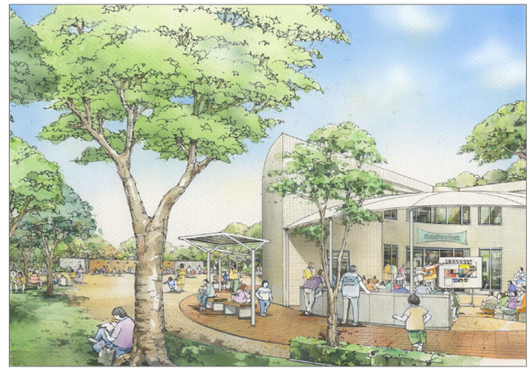
(2) 頼山陽文徳殿

被爆建物の見学会や被爆樹木の説明会など、被爆の実相を伝える場として活用するとともに、演奏会などの市民活動の場としても活用します。そのため、屋根や窓枠の改修、空調設備や便所の整備等により利用環境を整えます。

(3) まんが図書館・御便殿広場

まんが図書館前の広場に石段を囲う屋根を整備するとともに、広場と1階にイベント空間を確保した上で、企画展やまんが教室、広島にゆかりのある漫画家や人気漫画家との共同イベントなどを開催します。

また、緑豊かな自然に触れながら緑陰読書を楽しめるよう、御便殿広場にベンチや芝生エリアなどを整備します。



「(3) まんが図書館・御便殿広場」の整備イメージ

5 第Ⅱ期 整備（平成31年度～平成33年度）

第Ⅱ期は、民間事業者や市民等の知識や経験、資金を活用しながら、公園の新たな魅力を創出するための整備を進めます。

具体的には、デルタ市街地の街並みと平和大通りを間近に見ることができる展望施設を整備し「都市の美しさ・復興の力強さ」を実感できる場を整備するとともに、展望施設には「平和へのメッセージ」を記す碑を設置し「都市に込められた平和への思い」を共有できる場を整備します。

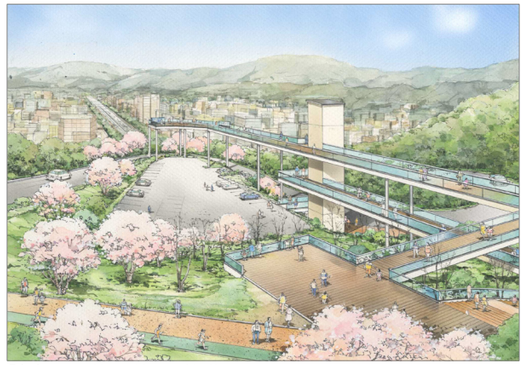
また、レクリエーションエリアやウェルネス施設といった収益が見込める施設は、民間事業者を主体とした整備や管理・運営（民設民営）を視野に入れて取り組みます。また、プレイパークについては、市民活動団体に管理・運営を委ね、その知識や経験を活用することを検討します。こうした施設の整備等に加え、現代美術館の機能強化やランニングコースの整備を行い、より一層「都市に息づく文化・自然の豊かさ」を体験できるようにします。

5 第Ⅱ期 整備（続き）

(1) 展望施設等

南北に広がる比治山公園の中心に位置する現在の第二駐車場周辺は、平和大通りの東端の延長線上に位置しており、その姿を一望することができます。こうした特長をいかし、このエリアを比治山公園「平和の丘」の中心と位置付けた上で、四季折々の草花で利用者を出迎える展望庭園を整備するとともに、デルタ市街地の街並みと平和大通りを間近に見ることのできる展望施設を整備します。

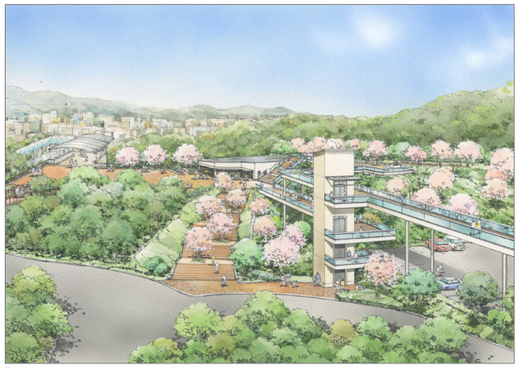
また、園内動線の高低差の軽減を図るためエレベーターを整備するほか、警備員等が常駐し公園利用者への対応等を行う管理事務所を移設し、園内の総合インフォメーション機能を持たせます。



「(1) 展望施設等」の整備イメージ

(2)「平和へのメッセージ」を記す碑

新たに整備する展望施設を始め、比治山公園の主要な展望箇所に、原爆の惨禍から復興したデルタ市街地の街並みを眺めながら、平和への思いを共有しつつ、戦争や平和について考えることができるよう、広島を訪れた世界の為政者や著名人が残した「平和へのメッセージ」を読むことができる碑を設置します。



「エレベーター等」の整備イメージ

(3) 現代美術館

比治山公園における中核的な文化施設として、ヒロシマ賞受賞作家を中心とした展示等を充実させます。

また、美術館にとどまらず、美術館周辺の地形や自然環境を活用したインスタレーションやプロジェクションマッピングを実施するとともに、駐車場から美術館までの園路沿いや美術館周辺に彫刻等の芸術作品を設置します。

そのほか、ユニークベニューやアフターコンベンションの場として活用するとともに、美術館のライトアップによる夜間の魅力を向上させます。

(4) 遊戯施設

園内各所にそれぞれテーマを持った遊戯施設を分散配置し、公園全体を回遊して楽しめるようにします。

(5) ランニングコース

安全で快適にウォーキングやランニングを楽しめるよう、コースや距離を表示した案内板を整備し、周回型のランニングコースを設定します。

(6) ウェルネス施設

ウォーキングやランニングを始め、公園内で健康づくりを楽しむ人々が利用できるシャワー設備や更衣室、ロッカーなどを備え、カフェを併設した施設を整備します。

(7) プレイパーク

自然との触れ合いの中で、遊具作りや水遊び、泥遊び、木登りなど、子どもの自由な発想で楽しむことのできるプレイパークを整備します。

(8) レクリエーションエリア

公園南側の広場と桜の広場に、バーベキューやデイキャンプ等を楽しめる環境を整備します。

＜他都市の整備事例＞

(4) 遊戯施設

モエレ沼公園（札幌市）のイサム・ノグチがデザインした遊戯施設

(4) 遊戯施設

南池袋公園（東京都）ウッドチップを敷き詰めた遊び場

(5) ランニングコース

大濠公園（福岡市）の弾性舗装を用いたランニングコース

(8) レクリエーションエリア

小戸公園（福岡市）の屋根付き水場施設

「(7) プレイパーク」の整備イメージ

6 第Ⅲ期 整備（放射線影響研究所移転後）

第Ⅲ期は、放射線影響研究所の移転後の敷地を活用し、平和・芸術文化ゾーンとして新たな施設の整備を行い、基本計画の総仕上げに取り組みます。

具体的には、基本計画の対象区域内で最も大きな面積を有する放射線影響研究所敷地を活用し、民間事業者や市民等を主体とした整備や管理・運営（民設民営）を視野に入れて、多目的エリアを整備します。また、隣接する同研究所の職員宿舎を活用して飲食施設（レストラン）を整備し、これらの整備により、国籍や人種、宗教などの様々な違いを超え、幅広い人々の交流を生み出せる場とすることで、平和であるからこそ享受できる「都市に息づく文化・自然の豊かさ」を体験できる場をつくり上げます。

さらに、このレストラン周辺が、比治山公園で最も高い場所であることをいかして、「平和へのメッセージ」を記す碑を設置し、「都市に込められた平和への思い」を共有できる場とします。

なお、放射線影響研究所の敷地を活用した整備は、こうした整備内容に沿って進めることにしますが、同研究所の移転の段階で、広島市博物館基本構想（昭和57年度策定）及び広島市博物館基本計画（平成3年度策定）における位置付けとの整理を行うこととします。

〔平和・芸術文化ゾーン ー放射線影響研究所敷地ー〕

(1) 多目的エリア

平和であることを実感しつつ、現代美術を始めとした芸術文化に親しむことができる場として、屋外彫刻や芸術性の高い遊具などを設置し、美術に触れながら、楽しさや感動を味わえる場とします。

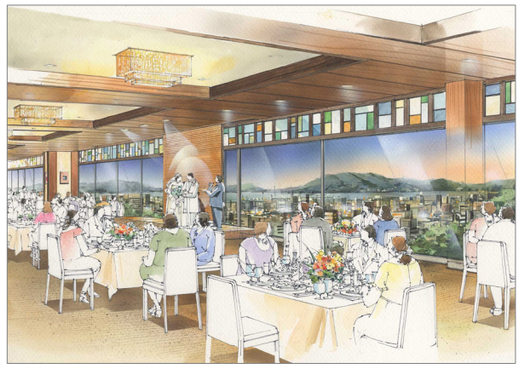
また、ヒロシマをテーマとした芸術表現などの創作活動や国際交流イベントの開催も検討します。

さらに、公園一の広さをいかした市民や観光客の交流の場（イベント広場）として、地産地消の飲食・物販に活用できる回廊状のパーゴラ（日陰用の棚）、音楽イベントや演劇等に利用できるステージ等を整備します。

「(1) 多目的エリア」の整備イメージ

(2) 飲食施設（レストラン）
(3)「平和へのメッセージ」を記す碑

放射線影響研究所の職員宿舎である比治山ホールを活用し、日本を代表する建築家の一人である前川國男氏により設計された建物の魅力やホールから得られる眺望をいかしつつ、夜景が楽しめ、結婚披露宴も開催できるような上質な空間を持つレストランを整備（誘致）します。また、比治山ホールに隣接するFM放送所横の広場をレストランの庭園として整備し、「平和へのメッセージ」を読むことができる碑を設置します。



「(2) 飲食施設（レストラン）」の整備イメージ

(4) 遊戯施設

放射線影響研究所移転後に、現在の遊具広場に比較的規模の大きな遊戯施設を整備するとともに、同研究所敷地にはテーマを持った遊戯施設を配置します。

(5) ランニングコース

放射線影響研究所の敷地をいかし、公園全体を周回できるランニングコースを完成させます。

7 公園の機能をより発揮させるための環境整備

この三つの期間の施設整備に合わせて、歩行者が安全に移動・回遊するために自動車・歩行者動線を原則分離します。また、視点場からの眺望を確保し、園路沿いを中心に明るい樹林環境へ転換させるために樹木の間伐等を行います。そのほか、公園内の各施設や広場、記念碑等を紹介する案内サインの設置、ランニングコース等への照明灯の設置など公園の機能をより発揮させるための環境整備にも取り組みます。